

あま かわ べ 天の川辺



双葉中学校通信

No.3(2026. 6.16発行)

〔文責：億田明彦〕

教育目標 「天の時 地の利 人の和」 ～ 時をいかし 強みをいかし 人をいかす 双葉中 ～
目指す生徒像 ・自ら考え、主体的に行動する生徒 ・自分や仲間の強みを認識し、伸ばす生徒
・人権を尊重し、共にによりよく生きようとする生徒



双葉中学校ホームページ

第80回体育大会スローガン「友 ～一瞬の熱狂、一生の絆～」

6月11日(木)、12日(金)の2日間にわたり開催した令和8年度第80回体育大会は、生徒一人ひとりの情熱と仲間を思う心によって、大きな感動とともに幕を閉じました。

今年のスローガンは、「友 ～一瞬の熱狂 一生の絆～」でした。体育大会当日、生徒たちは、そのスローガン通りグラウンドに熱狂の渦を巻き込み、それぞれの絆を深めました。

一日目の個人競技の部では、自己記録への挑戦はもちろん、仲間のために全力を尽くす姿が随所に見られました。ゴール直前でこけそうになっても最後まで走り抜く姿、競技を終えた仲間を大きな拍手で迎える姿、声が枯れるほど応援する姿に、双中学生の素晴らしさを感じました。稀に見る6種目で大会新記録が出ました。(1年女子200m,2年女子200m,3年男子400m,3年男子800m,3年男子1500m,3年男子ハンドボール投げ)

二日目の団体競技の部では、生徒会執行部が工夫して考えた生徒会種目の「おまつりリレー」や「玉入れ」を存分に楽しみました。続いて行われた学級対抗クラスアピールでは、それぞれの学級が工夫を凝らし、仲間と創り上げてきた成果を存分に発揮しました。本番の2分間のために何度も話し合い、練習を重ねてきた時間こそが、学級の絆を深めるかけがえのない財産となりました。最後の学級対抗全員リレーでは、まさにクラスの思いを一本のバトンに託して走る姿が見られました。そこには、順位だけでは語れない熱狂と感動がありました。抜かれてもあきらめず、仲間を信じてバトンをつなぐ姿は、観戦者の心を打ちました。

私は、この体育大会を通して、本校の学校教育目標である「天の時 地の利 人の和」が体現されたと感じています。天候にも恵まれ、それぞれが競技に挑戦しチャンスをつかむ「天の時」がありました。一人ひとりが競技や役員で発揮する強み「地の利」もありました。そして、何より、生徒同士が認め合い、支え合い、高め合う「人の和」がありました。どれほど優れた個人がいても、一人では大きな感動は生まれません。しかし、仲間と心を合わせた時、人は自分の想像を超えた力を発揮します。体育大会当日、皆さんの姿はそのことを証明していました。

優勝したクラスも、悔しい思いをしたクラスも、この体育大会で得たものは皆同じです。それは、「仲間とともに本気で取り組んだ経験」です。本気で挑戦したからこそ喜びがあり、悔しさがあり、成長があります。その経験は、これから先の学校生活や人生で必ず自分自身を支え、成長させる力となります。



グラウンドで見せた一人ひとりの輝きは一瞬で終わるものではありません。その輝きは、形を変えて仲間との絆となり、自信となり、双葉中学校の新たな伝統となって受け継がれていきます。80回目の体育大会は終わりました。しかし、皆さんが仲間とともに流した汗、全力で駆け抜けた時間、互いに励まし合った言葉は、これからも皆さんの心の中で生き続けます。

いつの日か振り返った時、双葉中学校での「あの体育大会があったから今の自分がある」と胸を張って言える。そのような二日間になったことを確信しています。

「一瞬の輝きは過ぎ去っても、そこで結ばれた絆は一生の宝物です。」

全校「命の大切さを学ぶ教室」

5月11日(月)、本校において「命の大切さを学ぶ教室」を開催しました。講師には、交通事故遺族として全国各地で講演活動をされている福井県の宮地美津子様をお迎えし、ご自身の体験をもとにお話しいただきました。

宮地様は、平成14年9月、買い物に出かける途中だった当時小学6年生のご長男を交通事故で亡くされました。突然の事故によって大切な命が失われた悲しみや、その後のご家族の思いについて、映像や写真を交えながら語られました。

生徒たちは、「命は一つしかないこと」「自分の命も周りの人の命もかけがえのないものであること」を真剣に受け止め、静かに耳を傾けていました。また、交通ルールを守ることの大切さだけでなく、日頃から家族や友人を思いやり、感謝の気持ちを伝えることの大切さについても考える機会となりました。

今回の学びを通して、生徒一人ひとりが命の尊さを改めて見つめ直し、自分や周囲の人を大切にする行動につながっていくことを願っています。今後も本校では、命と人権を大切にすることを推進してまいります。



《生徒の感想》

- 今回の講演を聞いて、命はとても大切なものだということを学びました。いつも何気なく楽しんだり話したりしているのも、命がなくなるとそんな日々が一瞬に消えてしまうなんて、何という悲しいことなのだと思います。これからは命を大切にしようと思いました。
- 改めて命は本当にかげがえのないものなのだと思います。この講演を聞いて、命は何にもかえることができないし、人生は一度きりしかなく、ゲームのように何度もやり直すことができないので、命を大切に、法律、ルールを守って安全に過ごしていきたいと思いました。
- 命の大切さが前よりもよくわかりました。明日があるとは限らないので、一日を大切に過ごしたいと思いました。家族、友達がいざ周りからいなくなると考えると、悲しいどころかもう何もできない、やる気が出なくなると思っています。いつまで今の幸せが続くかも分からないので、沢山のの人に感謝を伝えたいです。
- 加害者にも被害者にもならないためには、ルールを守るということはとても大事だと思います。命がなくなるということは、その人自身もだけど、その人の周りの人達の人生も変わるということを知りました。
- 自分の命や家族、友達の命は一つしかないもので、より大切にしたいと考え直すことができた。生きることは自分に与えられた使命なのだと実感しました。

2年生「職業講話学習」



6月3日(水)、2年生では「職業講話学習」を実施しました。今月末からの職場体験学習に向けて、第一線でご活躍されている4名の講師の方々をお招きし、それぞれの仕事内容ややりがい、その職業に就いたきっかけなどについて貴重なお話を伺いました。【ご協力いただいた講師の皆様】北ビワコホテル グラツィエ(ブライダルプランナー：鈴木直隆 様) 米原消防署(消防士：横関正次 様) Dragee (パティシエ：西村研吾 様)

きらめきデイサービス(柔道整復師：堀内哲也 様)

生徒たちは、メモを取りながら真剣な表情で耳を傾けていました。教科書の勉強だけでは分からない「働くことのリアルな喜びや苦勞」に触れ、自身の将来や進路について深く考える大変貴重な機会となりました。

ご多用の中、子どもたちのために仕事場での様々なお話を届けてくださった講師の皆様には心より感謝申し上げます。

6・7・8月の主な行事予定

- 6月 5日(金)3年第1回進路説明会
- 11日(木)・12日(金)体育大会(AM)
- 15日(月)3年第4回確認テスト
- 16日(火)教育相談期間~22(月)
- 23日(火)・24(水)期末テスト
- 29日(月)2年職場体験~
- 7月 3日(金)~ 同上
- 9日(木)3年第5回確認テスト
- 10日(金)~15日(水)個別懇談会
- 17日(金)終業式
- 《夏季休業 7/18~8/31》
- 18日(土)・19日(日)夏季ブロック大会
- 26日(日)~28日(火)夏季総体(中体連)
- 8月 5日(水)~1日(火)大阪近畿大会
- 21日(金)市英語弁論大会